

土砂災害の種類

突発的に発生し、すさまじい破壊力で一瞬にして多くの生命や財産を奪ってしまう土砂災害は、大きく3種類に分けることができます。

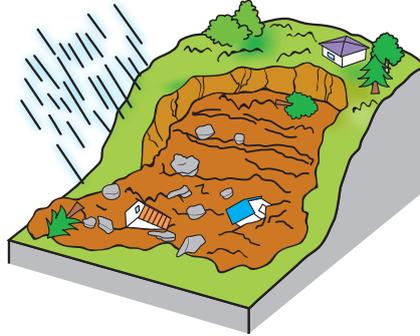
がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)

集中豪雨や地震などにより地盤が緩み、抵抗力の低下や浮石の抜け出しが生じて瞬時に斜面が崩れ落ちる現象。突発的に起こり、崩れ落ちるスピードが速いため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、死者の割合が高い。



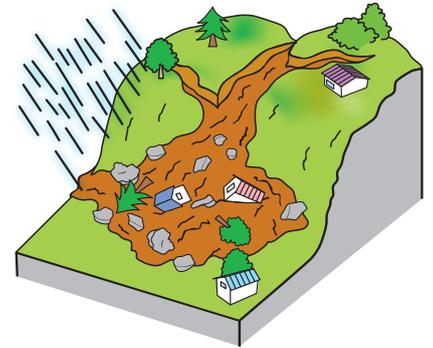
地すべり

比較的緩やかな斜面において、地中の滑りやすい層(粘土・泥岩などを含む地層)の地盤が地下水の影響などを受けて、ゆっくりと動き出す現象。一度に広い範囲が動くため、ひとたび発生すると人家、道路、田畑などに大きな被害を及ぼしたり、川をせき止めて洪水等を引き起こす原因になることもある。



土石流

溪流に貯まった土砂が、長雨や集中豪雨などによって一気に下流へ押し流される現象。時速20km~40kmと自動車なみの速度で流れ、破壊力がとても大きいので、人家や田畑を押し流し大きな被害をもたらす。



土砂災害から身を守るために

土砂災害の危険が迫ったときには、すばやく避難することが大切です。いつもと違う大雨が降っているときには、避難準備をし、いつでも避難できるようにしてください。以下のような事象はすでに土砂が流れ出ている可能性がありますので、垂直避難など命を守るための避難を開始してください。

がけ崩れの前兆現象

- がけにひび割れができる。
- 小石がパラパラと落ちてくる。
- がけから水が湧き出る。
- 湧き水が濁る。
- 地鳴りがする。

地すべりの前兆現象

- 地面がひび割れたり陥没したりする。
- がけや斜面から水が噴き出す。
- 井戸や沢の水が濁る。
- 地鳴り・山鳴りがする。
- 建物や樹木が傾く。
- 亀裂や段差が発生する。

土石流の前兆現象

- 山鳴りがする。
- 急に川の水が濁り、流木が混ざり始める。
- 腐った土の匂いがする。
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる。
- 立木がさける音や石がぶつかり合う音が聞こえる。

イエローゾーン・レッドゾーン

土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域

土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域は、土砂災害防止法※に基づき、都道府県が指定しています。

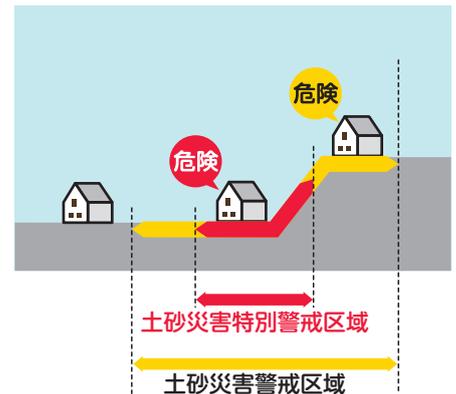
※土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律

土砂災害警戒区域 (通称:イエローゾーン)

土砂災害が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる区域。
危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

土砂災害特別警戒区域 (通称:レッドゾーン)

土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域。
特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。



避難行動のポイント

1. 上記の土砂災害の前兆現象に注意し、すぐに避難する。
2. 土石流やがけ崩れの起こる方向に対して横方向に避難(①水平避難)する。
3. 大雨の中など外へ避難を行うのが危険と感じる時は、自宅2階以上の山の反対側の部屋や堅固な建物の上階へ避難(②垂直避難)することも考慮する。
4. 土砂災害警戒情報が発表された場合は、すぐに避難する。
5. 記録的短時間大雨情報が発表された場合は、早めに避難する。

